

1. 伊藤忠記念財団の目指すもの

すべての子どもたちに読書の喜びを!!

読書環境の整備を通し子どもたちの成長を支援

子ども文庫助成事業 (1975年～)

- ① 子どもの本購入費助成
- ② 病院・施設子ども読書活動費助成
- ③ 子どもの本100冊助成
- ④ 子ども文庫功労賞

電子図書普及事業(2010年～)

- ① 電子図書の製作・配布
- ② 読書バリアフリー研究会の開催
- ③ その他障害がある子どもたちの読書環境をととのえる活動

伊藤忠記念財団 <https://www.itc-zaidan.or.jp/>

伊藤忠記念財団は1974年に伊藤忠商事株式会社が設立

青少年健全育成

1. 伊藤忠記念財団の目指すもの

すべての子どもたちに読書の喜びを!!

読書環境の整備を通し子どもたちの成長を支援

子ども文庫助成事業 (1975年～)

- ① 子どもの本購入費助成
- ② 病院・施設子ども読書活動費助成
- ③ 子どもの本100冊助成
- ④ 子ども文庫功労賞

電子図書普及事業(2010年～)

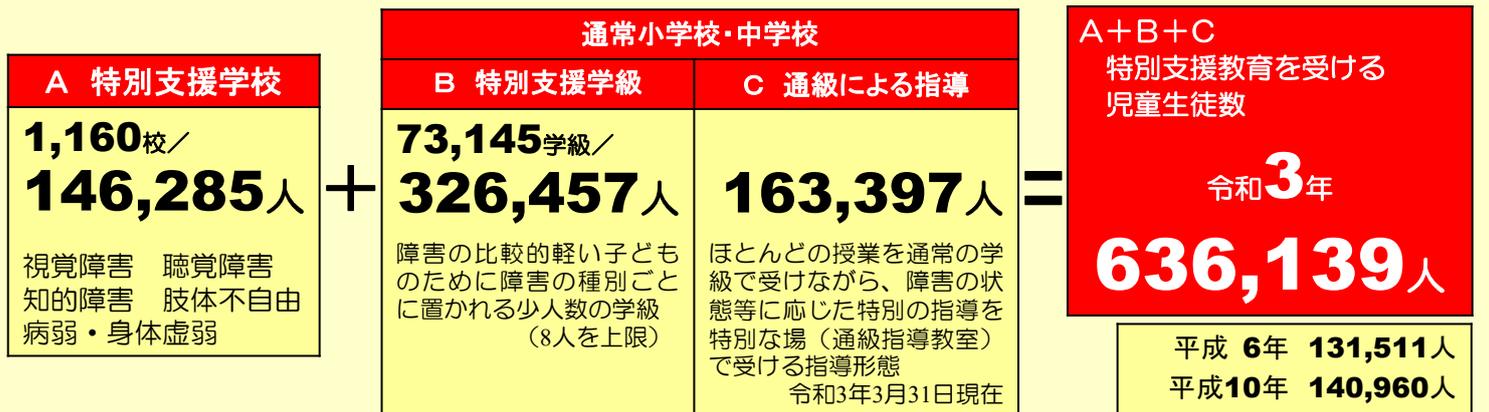
- ① 電子図書の製作・配布
- ② 読書バリアフリー研究会の開催
- ③ その他障害がある子どもたちの読書環境をととのえる活動

伊藤忠記念財団 <https://www.itc-zaidan.or.jp/>

伊藤忠記念財団は1974年に伊藤忠商事株式会社が設立

2. 特別支援教育を受ける子どもの人数

令和4年11月 現在

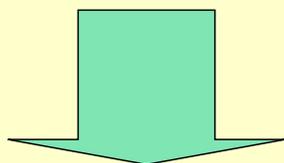


令和4年12月に発表された文部科学省の調査によると、通常の学級に在籍し、知的発達に遅れはないが、発達障害の可能性があり、特別な教育的支援を必要とする児童生徒

8.8% = 約83万人

(文部科学省HP特別支援教育資料)

特別支援教育を受ける子どもは、
年々増加している



紙の本では、読書が困難な子どもたちも多勢含まれている

3. 紙の本では「読みにくい」とは！？

読んでもらえると
意味がわかります
(学習障害のF君)

大きく拡大すれば
読めるんだ。
(弱視のA君)

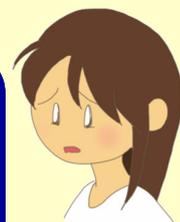
タブレットなら
消毒OK
(病弱のEさん)

そんなみなさんの読書を
「わいわい文庫」
がお手伝いします。

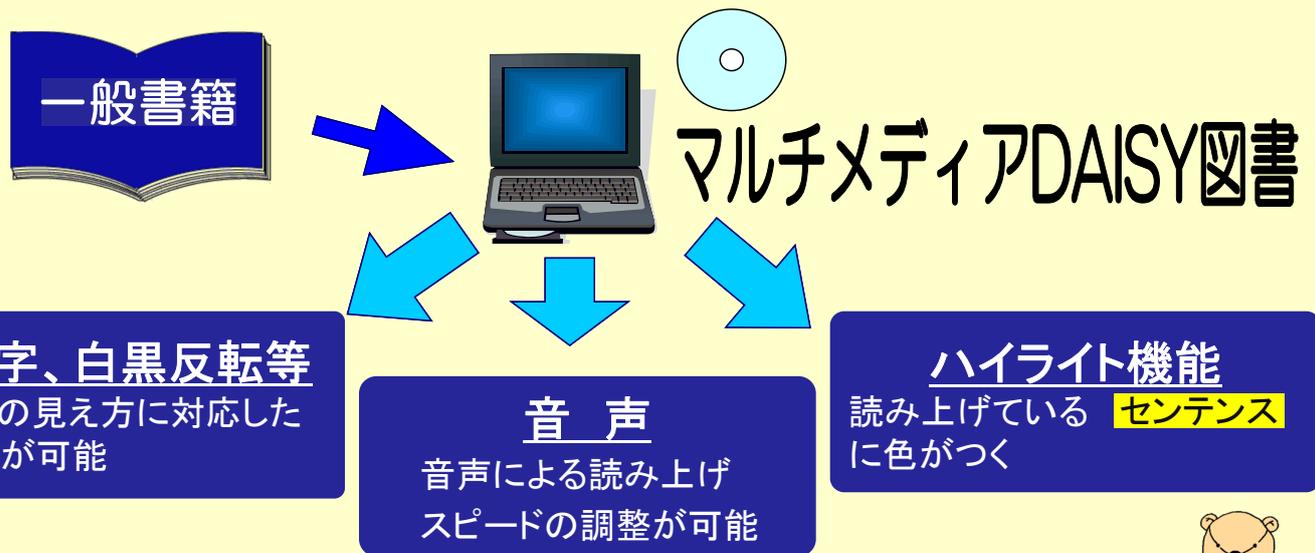
ひらがなや読んで
もらえばわかります
(知的障害のBさん)

自動で進む電子図書
なら読めるかも
(肢体不自由のD君)

読んでもらえると
意味がわかります
(難聴のCさん)



4.マルチメディアDAISY図書の特長 One Source,Multi Use



様々な読む障害に対応することができる



DAISY(デイジー)とは、
Digital Accessible Information SYstemの略で、「アクセシブルな情報システム」と訳されている

様々な読む障害に
対応することができる

5. わいわい文庫の特徴

肉声で読み上げているので、抑揚があり自然なイントネーション



自動起動システムの付加

浜なつ子 文 よこやまようへい 絵

合計

CD36枚・573作品

白い盤面の作品は市販されている本を収録
読書に障害のある方のみ利用可



CD11枚・231作品

青い盤面 (Ver.BLUE) はわいわい文庫のオリジナル作品を収録
誰でも利用可

著作権法第37条第3項に基づく著作物

6. わいわい文庫のあゆみ

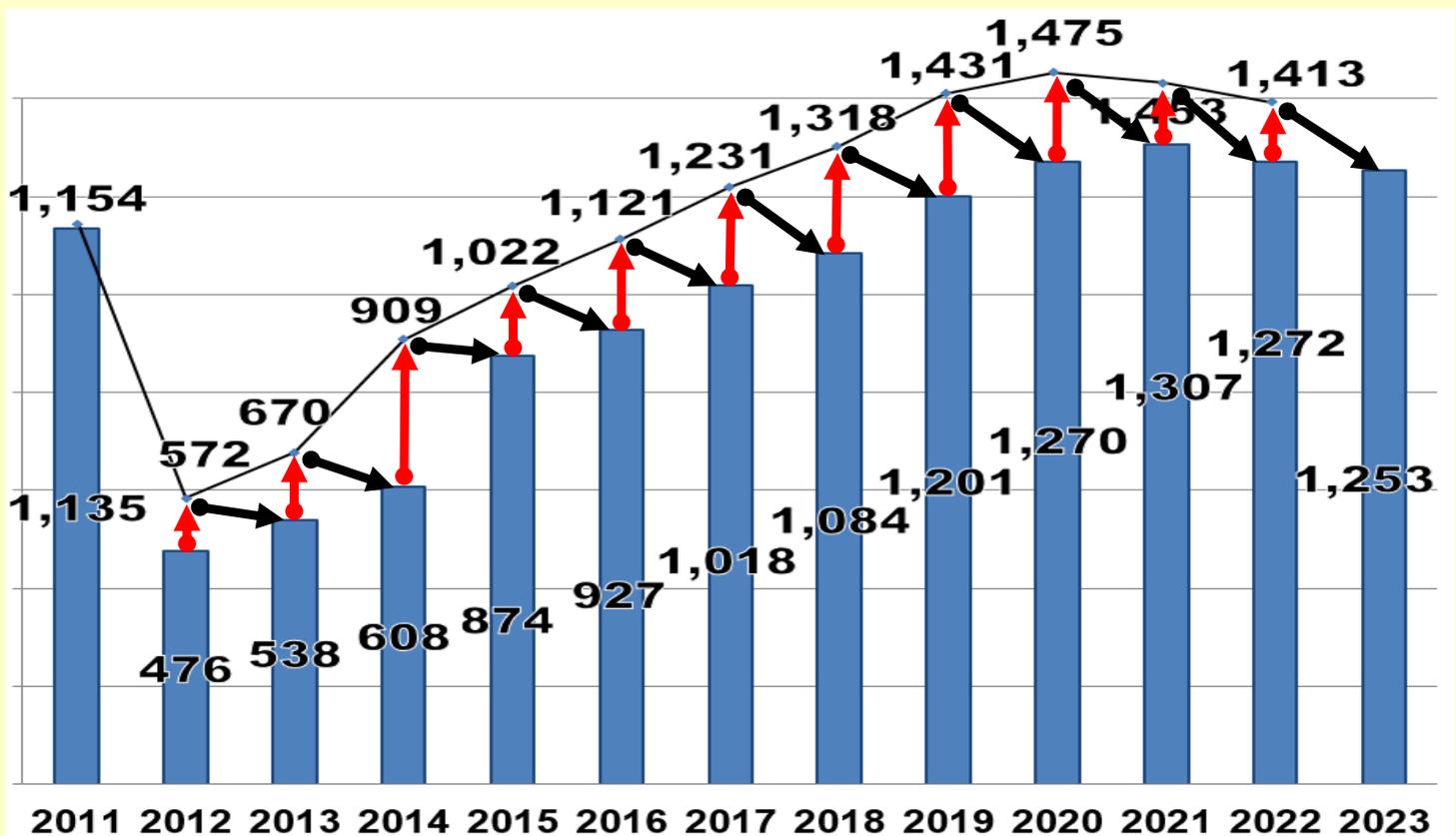
年度	総数	白版	Ver.BLUE	内容
2011	31	31	0	・現在、配布していない
2012	38	38	0	・配布時期の変更 ・紙芝居風作品提供開始 ・コピーガードシステムの変更 ・「わいわい文庫」へ
2013	58	37	21	・わいわい文庫活用術製作開始 ・Ver.BLUE製作開始 ・書影ポスター配布開始
2014	55	31	24	・縦書き作品製作開始
2015	61	36	25	・絵本の文字表示の変更 ・日本昔話の旅開始
2016	66	46	20	・日本昔話の旅 方言版テキスト開始
2017	70	50	20	・わいわい文庫 Area Map(分類表)配布開始
2018	74	53	21	・ネット検索システムスタート
2019	83	59	24	※ 読書バリアフリー法の成立 ※ GIGAスクール構想の取組みが始まる
2020	91	69	22	・国立国会図書館へ提供開始
2021	72	55	17	
2022	66	52	14	・わいわい文庫活用術のホームページをリニューアル
2023	70	47	23	・ホームページで、わいわい文庫のお試し再生
合計	804	573	231	

7. わいわい文庫 分類

分類	幼児～低学年	低学年～中学年	中学年～高学年	高学年以上	計
01_物語	2	26	29	14	71
01_物語_昔話	21	134	13		168
01_物語_神話			4		4
02_詩	3	3	5	10	21
03_ノンフィクション		2	3	8	13
04_伝記			8	6	14
05_絵本	143	48	14	1	206
06_紙芝居風	51	2		1	54
07_言葉	15	7	2	1	25
08_生き方	1	1	1	4	7
09_社会	4	6	15	10	35
10_戦争と平和		2	6	2	10
11_宇宙		1	3	5	9
12_地球	1	1	5	3	10
13_生き物	7	28	15	4	54
14_人の体	2	7	5	1	15
15_植物		10	2		12
16_食べ物	8	5	5		18
17_乗り物	6	13	7	2	28
18_スポーツ	1	5		15	21
19_アウトドア		2	6	1	9
計	265	303	148	88	804

8. わいわい文庫配布数の推移

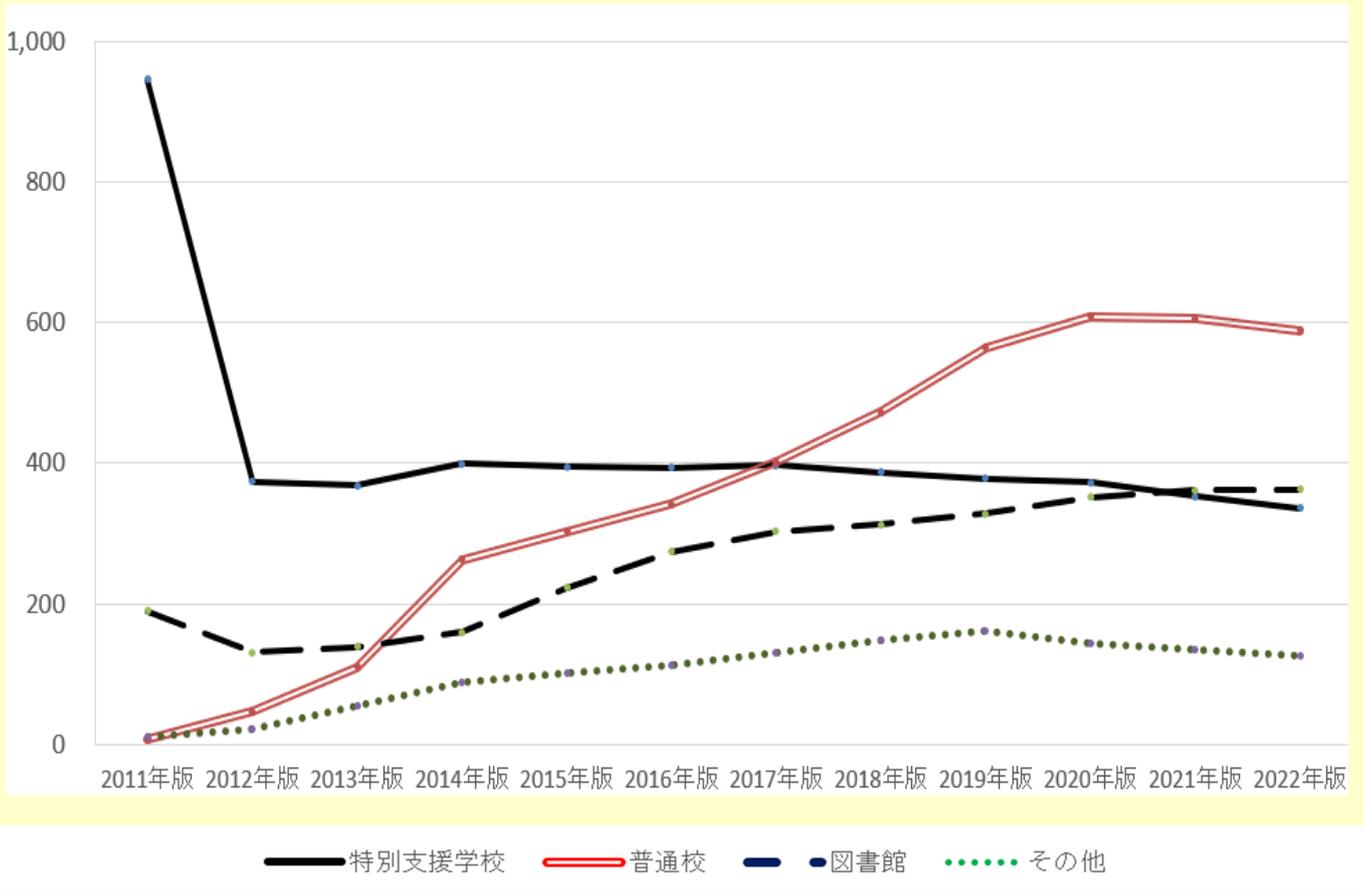
2023年5月10日現在



棒グラフ: 5月一斉送付数

折れ線グラフ: 年度最終送付数

9. わいわい文庫 配布団体数の推移



10. わいわい文庫の利用対象者と入手方法

利用対象者は

日本図書館協会ガイドライン(別表1より)

- | | |
|------|--------------|
| 視覚障害 | 発達障害 |
| 聴覚障害 | 学習障害 |
| 肢体障害 | いわゆる「寝たきり」状態 |
| 精神障害 | 一過性の障害 |
| 知的障害 | 入院患者 |
| 内部障害 | その他図書館が認めた障害 |

学校図書館等における読書バリアフリーコンソーシアム

東京大学先端科学技術研究センター近藤武夫研究室



© M.Minagawa

入手方法は

国会図書館

学校、公共図書館、医療機関などの団体に無償配布

電話: **03(3497)2652** mail: **bf-book@itc-zaidan.or.jp** にて受付

11. わいわい文庫 不正利用の防止策

1 受領証の取り交わし

配布先と著作権法の確認書面の取り交わし
未返送団体には今後の配布停止

2 ウォーターマークの付加 (シリアルナンバー)

各**CD**にシリアルナンバーの設定
事故発生時に原因となった**CD**を特定可



12. 国立国会図書館へ「わいわい文庫」を提供

国立国会図書館の

「視覚障害者等用データ送信サービス」から

「わいわい文庫」**573**作品が利用できるようになりました。

このサービスは、

視覚障害その他の理由で通常の活字の印刷物を読むことが困難な方（プリントディスプレイアビリティ）が対象です。

個人向け

<https://www.ndl.go.jp/jp/support/send.html>

図書館向け

https://www.ndl.go.jp/jp/library/supportvisual/supportvisual-10_02.html